駅前に新たなランドマーク誕生

デュオヒルズ田原本駅前 分譲マンション80戸

こどもはぐくみ・交流Cや保育園 コミュニティFM開局で地域情報を発信

4月1日供用開始！

保育室

スタジオ

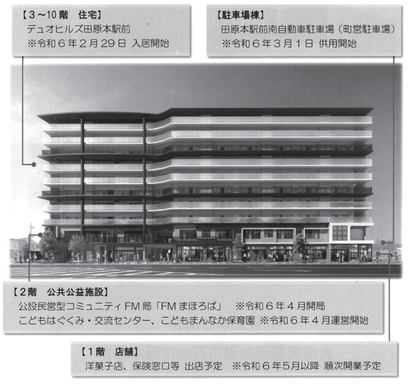
田原本駅南地区第一種市街地再開発事業は、町中心部の高齢化や人口減少の課題を踏まえ、新たな街なかの居住モデルとなるバリアフリー住宅の供給を行うことで、若者や子育て世帯の転入を促すとともに、郊外から駅前に住み替えたい高齢者世帯ニーズに対応した駅前にふさわしい賑わいある新たなランドマークとして期待されている。

同事業は令和2年9月に認可され、同10月に組合設立、3年11月の権利変換計画認可を経て、4年8月に建設工事に着手、このほど完成を迎えた。

ビル名称は多くの公募の中から「トモルテたわらもと」と命名。駅前を訪れる多くの人にとってあたたかい場所になってほしいという願いを込めた。

完成した「トモルテたわらもと」は、敷地面積3350・10平方㍍にRC造10階建（高さ約30・5㍍）、延床面積7511平方㍍、建築面積2237平方㍍の規模。1階は、奈良中央信用金庫が運営する多目的スペースと中央商事の保険窓口、洋菓子店ステラリュヌ が5月以降の順次オープンを予定している。2階は、田原本まちづくり観光振興機構が運営するコミュニティ放送局「FMまほろば」が4月1日、放送開始を予定。田原本町を中心に県南部の地域情報や防災・災害情報などを発信する。また、こどもまんなか保育園（定員19人）は0～2歳児の小規模保育所。こどもはぐくみ・交流センターでは子育て中の親子の交流促進、育児相談などを実施する。3～10階は分譲住宅「デュオヒルズ田原本駅前」80戸を整備。駐車場は2層3段、延床面積1946・22平方㍍、102台を確保した。施設の設計監理は、都市・計画・設計研究所、施工は村本建設がそれぞれ担当した。

1Fラウンジ



盛大に完成祝う

寺井理事長「いつまでも暮らし続けられるまちづくり」につなげたい

式典で寺井孝雄理事長は、完成に至るまでの経緯等を説明した上で「いつまでも暮らし続けられるまちづくり」につなげたいと挨拶。

来賓の高江啓史町長は「このビルと周辺の活性化を通じて住民が幸せになることを心から期待している」。町議会の植田昌孝議長は「町民のみならず駅前を訪れる方々に末永く親しんでいただける施設に」。近畿地方整備局建政部の加賀田茂史住宅整備課長は「賑わいの創出、住民サービス向上、定住促進に寄与するものと期待している」とそれぞれ祝辞。

来賓紹介に続き、施工を担当した村本建設の南條秀和奈良本店長に感謝状が贈られた。南條本店長は「厳しい状況の中、無事故無災害で竣工を迎えられたのは皆様のご理解とご協力のおかげ様。この施設を中心にさらに活性化することを願う」と一言述べ、式典を終えた。

式典後にはテープカット、施設内覧も行われ、出席者全員で施設の完成を祝った。

感謝状贈呈

村本建設

式典のようす

寺井理事長（中央）ら関係者でテープカット

寺井理事長

加賀田課長

植田議長

高江町長

南條本店長

田原本駅南地区第一種市街地再開発事業　再開発ビル

トモルテたわらもと

田原本駅南地区市街地再開発組合（寺井孝雄理事長）は、近鉄田原本駅前に建設を進めていた再開発ビル「トモルテたわらもと」（田原本町939番地）が完成し、3月21日、関係者約40人が出席して竣工式典を挙行した。4月1日よりビル2階に入る「こどもはぐくみ・交流センター」、「こどもまんなか保育園」が運営を開始し、公設民営型コミュニティ放送局「FMまほろば」が開局する。

Tomolte
トモルテたわらもと

新しいビルができて、街に灯がともる。ビルを訪れる人や、街を行き交う人の心にも灯がともる。駅前を訪れる多くの人にとってあたたかい場所になってほしいという願いを込めて、この名称に決定しました。

【トモル:灯る ＋ モルテ:多くの（molte:イタリア語）】

田原本駅南地区第一種市街地再開発事業は、町の玄関口である田原本駅周辺における中心市街地の魅力低下や、居住人口の減少といった課題に対応するため、「賑わいある中心市街地の拠点づくり」と「新たな居住者に向けた街なか居住モデルとなる住宅の供給」を目的として施行されました。

本事業は、令和2年9月に認可され、同10月に組合設立、令和3年11月の権利変換計画認可を経て、令和4年8月に建設工事に着手いたしました。

この度、商業業務施設、公共公益施設、分譲マンション、駐車場を備えた複合施設が無事に竣工いたしました。

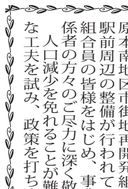
これも関係者の皆様の多大なる御尽力の賜物であり、深く敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

新たなビルの名称は、公募により多数の案をいただいた中から、駅前を訪れる多くの人にとってあたたかい場所になってほしいという願いを込めて、街に灯が「ともる」と、イタリア語で「多くの」を意味する「モルテ」を組み合わせて「トモルテたわらもと」と命名されました。

本施設には、田原本町内外から様々な世代の方が住まわれるとともに、新たな生活サービスを提供する店舗や、町民の交流の拠点となる施設が入居する予定です。

本施設が将来にわたって駅前に賑わいと活気をもたらし、田原本町のさらなる発展に寄与する拠点となりますよう、今後もより一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

田原本駅南地区市街地再開発組合
理事長　寺井孝雄



田原本駅南地区第一種市街地再開発事業の一環であります再開発ビル「トモルテたわらもと」が無事に竣工を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

「賑わいのある中心市街地の拠点づくり」を掲げ、「田原本町に住み続けたい人、新たな居住者に向けた街なか居住モデルとなる住宅の供給」を目的とし、平成16年の駅前広場等の都市計画決定以後、田原本南地区市街地再開発組合が設立され、駅前周辺の整備が行われてまいりました。組合員の皆様をはじめ、事業に携われた関係者の方々のご尽力に深く敬意を表します。

人口減少を免れることが難しい現代、様々な工夫を試み、政策を打ち出している自治体が数多くあります。本町といたしましても、当該ビル2階に、こどもはぐくみ交流センターやこどもまんなか保育園を開設することで、子育て支援機能の充実を図っていくとともに、近畿初の公設民営型コミュニティFMであるFMまほろばを開設し、本町をはじめとする周辺地域の情報や防災・災害情報など、住民の皆様の生活に寄り添った情報発信を行ってまいります。

また、1階商業施設には様々なテナントが入ることで、「トモルテたわらもと」の名称の如く、人々が集い、賑わいが生まれ、訪れる人や街を行き交う人の心に灯がともるような、駅前を訪れる多くの人にとってあたたかい場所になるとともに、町内外に田原本の魅力を発信していくランドマークとなることを期待しております。

田原本町
町長　高江啓史

設計メモ

当地区は大和平野の中央に位置しており、古くから人や物が集まり、昭和初期まで「商都」として発展してきましたが、時代の移り変わりとともに段々と賑わいが失われてきました。再開発事業では、都市機能や都市空間の質を向上させ、景観や都市環境を整備することで、賑わいを感じられる新たな街の姿が求められました。

設計方針は、大和平野の自然環境や歴史的な風景を大切にしながら、新旧が調和した街のシンボルとなる建築デザインを目指しました。

高さが約31m（10階）となる本建物は、京奈和自動車道など遠くからも視認されることから、景観面では全体のシルエットや色彩、素材に配慮し、和を感じるデザインを取り入れました。また背景の空や遠くの大和青垣・金剛山系と調和するよう、庇や手すりの水平ラインで建物デザインを整えました。

低層部はウォーカブルで歩いて心地よい空間とし、街に開かれた建物となっています。歩道と敷地が一体となるように窓・壁面の位置やファサードを周囲と調和させました。1階の店舗と2階の子育て交流施設・地域FM局は、吹き抜け（ビロティ）でつながっており、開放的な空間としています。敷地内には中庭を確保し、駅前でありながら四季が感じられる植栽や、子ども達が安心して遊べるプレイロットも設けました。

ヨーロッパでは歴史ある地域を評価する文化があります。この建物が街のシンボルとなり、長く住み続けたいと思われ、世代が代わっても多くの人に愛されていくことを期待します。

設計：（株）都市・計画・設計研究所　大阪事務所
渡邊寿之

祝　再開発ビル「トモルテたわらもと」4月1日オープン!

設計・監理

株式会社　都市・計画・設計研究所
UR institute of urban planning & design
大阪事務所

代表取締役　平井　仁
取締役大阪事務所長　渡邊寿之

〒530-0043 大阪市北区天満4丁目3番5号
中之島岡田ビル
TEL.06-6351-2756 FAX.06-6358-6081

施　工

心と技術で明日を築く
村本建設株式会社

代表取締役社長　久米生泰
常務執行役員 奈良本店長　南條秀和

本　社　〒543-0002 大阪市天王寺区上汐4-5-26　TEL:06-6772-8201
奈良本店　〒635-0822 北葛城郡広陵町大字平尾11-1　TEL:0745-55-1151